

**令和6年第2回 岩沼市議会定例会
一般質問(会派代表)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	<p>新たな岩沼市総合計画について</p> <p>1. 新たな岩沼市総合計画の特徴について</p> <p>(1) 新たな総合計画では、いわぬま未来構想の「i があふれる“健幸”先進都市 いわぬま」から「ひ とが集い 輝くまち いわぬま」へと岩沼市が目 指す将来像のキャッチフレーズが変わったが、そ のキャッチフレーズに込めた思いを伺う。</p> <p>(2) 「まちづくりの方向性」及び「将来像」の実現 を目指していくため設定しているまちづくりの 4つの柱について伺う。</p> <p>① 「利便性が高く魅力的なまちづくり」とは具 体的にどのように行っていくのか伺う。</p> <p>② 「活力のあるまちづくり」とは具体的にどの ように行っていくのか伺う。</p> <p>③ 「一人ひとりが住みよいまちづくり」とは具 体的にどのように行っていくのか伺う。</p> <p>④ 「笑顔あふれるまちづくり」とは具体的にど のように行っていくのか伺う。</p> <p>2. 将来人口について</p> <p>(1) 国立社会保障・人口問題研究所の令和5年4月 26日に公表されたデータによると、岩沼市の将 来人口予測で2050年には35,985人、2020年人 口と比較して81.7%まで減少する予測となっ ている、このまま何も対策を行わず、この推移のと おり人口が減少した場合、岩沼市の歳入総額・歳 出総額・財政力指数・将来負担比率などどのよ うな財政状況になると予測されるのか伺う。</p> <p>(2) 人口維持政策から人口増政策に変え、令和15 年の目標を45,000人としているが、どのよ うな方法で人口増を目指していくのか伺う。</p> <p>① 都市的土地活用を掲げているが、市街化調整 区域を市街化区域とするなど新たな宅地開発 は考えているのか伺う。</p> <p>② 空き家対策及び空き家等を活用した移住政 策をどのように考えているのか伺う。</p> <p>③ 保育料の第2子以降無償化は多くの自治体 が行い始めているが、第3子以降1人に対して 数十万円規模の助成を行うなど大胆な政策も</p>	市長

(続)	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	<p>必要ではないか伺う。</p> <p>④ ふるさと納税寄付管理に限らず、企業誘致の推進、交流人口の創出、移住対策などを考えると250万円の予算で満足なシティプロモーションは行えるのか伺う。</p>	市長
			<p>行政改革の進捗について</p> <p>1. 行政改革の成果と経費削減について</p> <p>(1) 行政改革はどの程度進んでいると評価しているのか伺う。</p> <p>(2) 組織改編と効率化で労働生産性向上の成果は表れているのか伺う。</p> <p>(3) 行政改革で予算はどの程度削減でき、その削減できた分をどこに、どのように生かしたか伺う。</p> <p>2. 公共施設の適正管理について</p> <p>(1) 市民体育センター及び農村環境改善センターの廃止が予定されている。廃止後の土地の利用をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 今後廃止を検討している施設はほかにあるのか伺う。</p> <p>(3) ハナトピア岩沼の民間委託のリニューアルが正式に発表されたが、今後ほかに民間委託を計画している施設があるか伺う。</p> <p>(4) 市民会館の駐車場適正管理のほか、今後施設等の適正管理を進めていく施設はあるのか伺う。</p> <p>(5) ふるさと納税を返礼品開発からプロモーション、受付窓口まで一元的に行うとしているが、具体的にどのように行うのか伺う。</p> <p>3. ゼロカーボンシティと脱炭素への取組について</p> <p>(1) ゼロカーボンシティの取組を加速させるために環境省が選定する脱炭素先行地域となり、国の手厚い支援の下でゼロカーボンシティを目指し、仙台国際空港や臨空工業団地、新しい宅地開発地域などの脱炭素化支援をすべきではないかと昨年質問したが、その後進んでいるのか伺う。</p>	市長
			<p>安心して暮らせるまちづくりについて</p> <p>1. 令和3年度の宮城県の小学校の不登校は都道府県別の多い順で13位、中学校9位と高い水準にあるが、岩沼市内小・中学校の現状も高いと伺っている。手厚い子育て支援や子育て日本一を目指す岩沼市にとって、移住先を選ぶのに不登校が多いというのはマイナスイメージになると思うが、将来的にど</p>	市長 教育長

(続)	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	<p>のような対策を行い減らしていくのか伺う。</p> <p>2. 引きこもり対策など県内でも先進事例として紹介されている。具体的にどのようなことを行っているのか。また、住み続けたいまちを掲げている以上、個々の悩みなどを解消していく対策とその取組なども安心して暮らせるまちとしてのPR材料に加えていくべきではないか伺う。</p> <p>3. 岩沼市の将来人口予測では核家族化が進み、世帯規模の縮小・単身世帯割合の増加などにより、家庭や地域での助け合いなどが難しくなり、ヤングケアラーや老々介護など個々の問題も多くなると想定されるが、将来的にどのような対策を考えているのか伺う。</p>	市長 教育長
2	15	公明党 長田忠広	<p>防災対策について</p> <p>1. 避難行動要支援者の個別計画と避難支援体制について</p> <p>当市は令和元年9月に要支援者の避難支援対策について「岩沼市避難行動要支援者支援プラン（全体計画）」を策定した。これまで避難行動要支援者の避難支援体制について質問してきたが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿登録者数及び個別計画策定済の数を伺う。</p> <p>(2) 個別避難計画策定について</p> <p>① 令和5年第3回定例会で「令和5年度は、計画の作成から見えた課題などを整理し、様式の見直しや手引の作成を行っております。」との答弁だったが、どのように対応したか伺う。</p> <p>② 策定に当たっては個別避難計画の必要性と支援者の役割を理解してもらう必要がある。そこで、まずは土砂災害危険区域がある町内会で説明会を開催してはどうか伺う。</p> <p>2. 福祉避難所について</p> <p>当市は平成25年3月に市内で福祉施設を運営する法人と「災害発生時における福祉避難所設置運営に関する協定」を結んだ。協定から10年が経ち福祉避難所の在り方について質問してきたが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>(1) 1月16日に開催した福祉避難所意見交換会について</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>15</p>	<p>公明党 長 田 忠 広</p>	<p>① 参加施設数とどのような意見があったか伺う。</p> <p>② 福祉避難所の設置運営に関する協定の更新状況及び内容を伺う。</p> <p>③ 定期的に開催し、施設間の連携強化を図ってはどうか伺う。</p> <p>(2) 福祉避難所の運営について</p> <p>① 開設規準と開設までの手順を伺う。</p> <p>② 受入体制について</p> <p>ア 福祉避難所には、高齢者施設・障害者施設・子育て関連施設などがあるが、受入体制について伺う。</p> <p>イ 現在は二次避難所の取扱いになっているが、個別避難計画策定の際に福祉避難所に直接避難できる仕組みも必要と思うが見解を伺う。</p> <p>③ 支援人材の確保について</p> <p>ア 避難所運営にはマンパワーが必要となる。そこで、相談支援事業所、地域包括支援センターなどと協定を結び、人的派遣の体制を構築してはどうか伺う。</p> <p>イ これまで「福祉避難所支援員の育成」について質問した。令和5年第3回定例会では「意見交換を進めて、研究してまいりたい。」との答弁だったが、研究の状況を伺う。</p> <p>④ 備蓄品の確保について</p> <p>ア 福祉避難所への備蓄品の対応について伺う。</p> <p>イ 福祉避難所に備蓄品を置くスペースには限りがあるので、総合福祉センターなど一か所にまとめて備蓄し、必要時にプッシュ型で対応してはどうか伺う。</p> <p>(3) 今後の対応について</p> <p>① 福祉避難所の確保・運営ガイドラインを作成してはどうか伺う。</p> <p>② 福祉避難所の避難訓練を実施してはどうか伺う。</p> <p>3. 防災士について</p> <p>当市では、29年度から岩沼市防災士資格取得支援事業を実施している。これまで防災士の在り方</p>	<p>市長</p>
------------	-----------	------------------------	---	-----------

<p>(続)</p>	<p>15</p>	<p>公明党 長 田 忠 広</p>	<p>について質問してきたが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>(1) 防災士の研修について、新年度は小学校区単位で開催してはどうか伺う。</p> <p>(2) 防災士に登録された方全員に活動メニュー（避難所運営、福祉避難所運営、地域の安否確認等）のアンケート調査を行ってはどうか伺う。</p> <p>(3) アンケートの調査結果を町内会（自主防災組織）と共有してはどうか伺う。</p> <p>4. 災害ケースマネジメントの仕組みづくりについて</p> <p>災害ケースマネジメントとは、災害が起きた後に、自力で生活再建することが難しい被災者一人一人の事情に合わせて、支援計画を立てていくというものである。これまで災害ケースマネジメントの仕組みづくりについて質問してきたが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>(1) 災害ケースマネジメントに関する地方公共団体及び関係民間団体向け説明会が昨年12月19日に開催されたが、どのような内容だったか伺う。</p> <p>(2) 仕組みづくりについてどのように進めて行くか伺う。</p> <p>5. 災害時協力井戸について</p> <p>当市では、災害時に供給が困難となるおそれのある生活用水の水源確保を図るため、令和元年に災害時協力井戸を登録する制度を開始し、令和5年11月1日時点で50井戸を登録している。これまで災害時協力井戸について質問してきたが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>(1) 登録の規準と手順を伺う。</p> <p>(2) 水質検査の状況を伺う。</p> <p>(3) 停電時の対応を伺う。</p> <p>(4) 今後の拡大の取組を伺う。</p> <p>6. 家具転倒防止等推進事業について</p> <p>当市は、平成18年7月から近い将来、宮城県沖を震源とする大規模地震の発生が予想されるため、自分で転倒防止器具等の設置作業が困難な高齢者や障害者などの世帯に対し、その取付作業の代行を行っているが、現在の状況と今後の取組を</p>	<p>市長</p>
------------	-----------	------------------------	---	-----------

(続)	15	公明党 長 田 忠 広	<p>伺う。</p> <p>(1) これまでの周知方法について伺う。</p> <p>(2) 避難行動要支援者に対する啓発を強化してはどうか伺う。</p>	市 長
			<p>医療的ケア児支援について</p> <p>1. 医療的ケア児の支援状況について</p> <p>(1) 医療的ケア児の実数を伺う。(就学前と就学後別に)</p> <p>(2) 医療的ケア児の保育所入所について 令和4年第6回定例会で「受け入れる体制づくり」について質問したところ、「先進地の事例を参考にしながら、今後研究を進めてまいりたいと思います。」との答弁であったが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>① 研究の経過について伺う。</p> <p>② 受け入れる体制づくりが必要と思うが、改めて見解を伺う。</p> <p>(3) 医療的ケア児の就学について 令和4年第6回定例会で「受け入れる体制づくり」について質問したところ、「なるべく学校に来て保護者の負担をかけないで就学できるような体制を考えていきたい。」との答弁であったが、現在の状況と今後の取組を伺う。</p> <p>① 検討の経過について伺う。</p> <p>② 受け入れる体制づくりが必要と思うが、改めて見解を伺う。</p> <p>(4) 各種計画の位置付けについて 令和5年12月に子どもに関する各種大綱を一元化した子ども大綱を策定されたが、当市の各種計画の位置付けについて伺う。</p> <p>① 今年度改定の障害児福祉計画の位置づけを伺う。</p> <p>② 新年度改定の子ども・子育て支援事業計画にどのように位置づけるか伺う。</p> <p>2. 医療的ケア児の支援体制について 宮城県は令和4年7月1日に「宮城県医療的ケア児等相談支援センター（愛称：ちるふあ）」を開設した。令和4年第6回定例会で「宮城県医療的ケア児等相談支援センターとの連携」について質問したところ、「支援者のスキルアップのための研修会の開催や地域課題の</p>	市 長 教育長

(続)	15	公明党 長 田 忠 広	整理について助言・協力をいただきたいと申し入れております。」との答弁であったが、宮城県医療的ケア児等相談支援センターとの連携をどのようにしてきたか伺う。	市 長 教育長
-----	----	----------------	--	------------